

新年会に参加して

今年の新年会は1月26日、オーストラリアデーに催された。私が新年会に出席するのは今年で4回目だが、今まで新年会の日はいつも猛暑日だったのが、今年は少し肌寒いくらいの日だった。今まで役員、あるいは役員のお手伝いとして、開催時間の2時間前には会場に出かけなくてはいけなかったが、JCVの会員でもなくなった今年は、JCV文化サロン「読書会」の講師としてご招待を受け、のんびり開催時間に出かけ、リラックスすることができた。

参加者は例年のごとく約50名くらい。デービス啓子事務局長、トニー・プレストン会長の簡単な新年のご挨拶のあと、テーブルに用意された食べ物に皆さん殺到。開催者が用意してくださったピザ、ローストチキンのほかに、皆さんが持ち寄ったきんぴらごぼう、おにぎり、お寿司、色々なサラダ、カレーライス、お好み焼き、冷やしうどんと、ご馳走の数々。全部は食べられないので、どれを頂こうかと迷った。ダイエットに良くないと思いながらも、お皿に盛った食べ物を全部食べてしまった。その後は、久しぶりに会った読書会の方々とおしゃべりを楽しんだところで、総領事ご夫妻が到着され、総領事の新年のご挨拶があった。総領事ご夫妻はヴィクトリア政府主催のオーストラリアデーの行事に参加されたあと、いったん公邸にケーキを取りに戻られて、JCV新年会に駆けつけてくだ

さったとのこと。お忙しい中参加してくださったことに皆感謝。

その後は、竜胆の面々の威勢のいい太鼓を聴いて、新年の気分が盛り上がった。

デザートを食べた後は、笑福亭笑子さんのパペット落語を楽しませてもらった。パペットの忍者服部くんと、そのジュニアとの三人の声を分けて、上を向いて歩こうの合唱を聞かせてもらった。色々なコントも楽しく、おなかの皮がよじれるほど、笑ってしまった。

大いに笑い、大いに食べ、幸せな気分が終わった新年会だった。

新年会を開催するための準備が大変だっただろうと、去年の役員だった時のことを思い出し、役員の方々に対して感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



久保田満里子 記

2013年ジャパンフェスティバル実行委員長 永嶋 実

会員みなさん、如何お過ごしでしょうか。

JF2013実行委員会の正式なスタートは諸事情によりまして、たいへん遅れましたが2月20日に第一回の実行委員会が開催する運びとなりました。

ただ、準備の方は1月の下旬より始めて、実行委員及びスペシャルボランティアの方たちの協力を頂きまして、今のところ順調に進んでいます。

まずはサポーターの依頼から始まり、出店のご案内、スポンサーやボランティアの募集と予定通りに、昨年同様電子メールをフルに活用して殆ど1月中旬に依頼、案内を行いました。

既に出店の申し込み、スポンサーの協賛、そして、一般ボランティアの申し込みも受けているところです。この記事が載るニュースレターが会員の皆さんの手元に届く頃

は、準備予定の半分は進むことを願っています。

今回、食べ物販売の許可証の申請方法がインターネットですることになり、実行委員会としても初めてのことで関係者に内容を説明するのに少し時間がかかりましたが、それも何とか済みまして、特に問題なく進ん

でいます。

もちろん、ウェブの方も担当者に出来るだけアップデートしてもらい、開催のアピールに全力を注いでもらっています。

今、一番の問題は今年は、ラッフルのメインスポンサーがなかなか見つからず、実行委員会で1等の賞品を用意しなくてはならなくなるということです。何とか有効な経費の使い方をしてラッフルの売上も例年並みを確保したいと思っています。

JF2013の一番の方針は、委員を始めJFに携わる全ての方が大きな負担をかけずに、また、応援してもらいたくさんのボランティアの皆さんが当日楽しく与えられた仕事に当たってもらえるような体制で準備段階から当日に臨むことです。

もっと詳しい進捗状況をお知りになりたい方は、ご遠慮なく事務局の方にご連絡ください。

Email : japanfestival@jcv-au.org

Website : <http://www.jcv-au.org/japanfestival/>

Mobile : 0401-849-555

JF2013実行委員長

永嶋 実

